hitonone

hitonone ANNUAL REPORT

2025-2026

hitonone











共に育ち合う社会をつくる

一般社団法人ヒトノネ

発行月 2026年7月

電話番号 058-216-5807

メールアドレス info@hitonone.com

ホームページ https://hitonone.com/

SNS

LINE	instagram	facebook	youtube
@knm9305j	@hitonone	一般社団法人ヒトノネ	ヒトノネ

拠点

探究型学童保育ヒトノネ
放課後等デイサービスみちな
Imaru個別指導塾
クリエイターズ・クラブ
〒500-8814
岐阜県岐阜市今川町2-2

ヒトノネ美島教室
〒502-0903
岐阜県岐阜市美島町3丁目3−25
美島会館（美島公園内）

放課後等デイサービス
みちなキッズ
Imaru個別指導塾（鷺山教室）
〒502-0852
岐阜県岐阜市南蝉1丁目152
TEL:058-216-1185







2025年度 年次報告書

Introduction

ごあいさつ

これからの未来を生きる子どもたちひとりひとりが本来持つ創造性を発揮して、自分らしく生きていく力が育つように。子どもたちが「未来は自分の手で変えられる」と信じられるように。子どもたちにイキイキと生きる大人の姿を見せたいと思っています。また、それぞれの凸凹・性別・環境が違うからこそ、力を合わせて発揮できるものがあると信じています。誰もが活躍し、安心して生きられる地域社会を作るために、私たちも頑張りますので、ぜひみなさんお力添えをお願いします。

ここにヒトノネがあって、とっても助かった！と思っていただける場所をこれからも作っていきます。

一般社団法人ヒトノネ　代表理事　篠田花子

Issues to be resolved

解決したい課題

1 子どもたちの可能性を左右する環境格差

日本の子どもの相対的貧困率は11.5％（2022年　　国民生活基礎調査）。経済的な理由や家庭環境によって、習い事・地域活動・文化体験への参加が難しく、可能性を広げる機会を持ちにくい子どもが多くいます。

2 不登校の増加と居場所の不足

小・中学校の不登校は過去最多の約35万人（令和6年度　文部科学省）。発達特性や家庭環境など複合的な要因で学校に行きづらい子どもが増える一方、学校以外の学びや居場所はまだ十分ではありません。

3 発達障害・グレーゾーンの子どもたちの困難

通常学級の約8.8％に発達障害の可能性があるとされています（2022年　文部科学省）。診断の有無にかかわらず、学習や対人関係に困難を抱え、理解されないまま自信を失う子どもたちが少なくありません。

4 10代の精神的負担と孤立

小中高生の自殺者数は令和6年に527人と過去最多（2025年1月　NHK報道）、15〜39歳のひきこもりは推計146万人（内閣府）にのぼります。相談相手のいない子ども・若者が社会から切り離されるリスクが高まっています。

5 保護者の孤立と社会の理解不足

発達特性や不登校を抱える家庭では、保護者も精神的・経済的な負担を一人で抱えがちです。「努力不足」「甘え」という誤解が根強く、適切な支援につながりにくい現実があります。

About us

私たちについて

Vision　**共に育ち合う社会**

【子ども】未来を信じて、その人なりの自立ができる
【 社 会 】多様性を理解し、互いに助け合いながら生きられる

Mission　**苦しさが見えづらい子どもの育ちを支える**

1. 探究的な学びの機会を生む
2. 発達特性のある子どもの進路・キャリアを支える
3. 10代の安心できる居場所をつくる
4. 共に取り組む輪を広げる

Issues to be resolved

私たちの活動

学校でも家庭でもない「第三の場所」として、子どもたちが安心して過ごしながら、学びや挑戦、人とのつながりを育める環境をつくっています。

ロジックモデル



活動		初期成果	中期成果	長期成果
		子どもたちの状態（関わって1年後）	子どもたちの状態（関わって6年後）	「共に育ち合う社会」が実現
学童保育（小学生）	利用者数 約100名	• 挑戦・体験機会を得る • 生活習慣・学習習慣 • 安心して過ごせる • できた！OK！ • 自己効力感を得られる • 保護者の安心	• 自立へ向かう準備 • 人に頼る • 自己 / 他者理解 • 自己決定	**子ども** 未来を信じて その人なりの 自立ができる
放課後等デイサービス（小学生〜高校生）	利用者数 約40名			
学習支援（小学4年生〜中学生）	利用者数 約20名			
ユースセンター（10代）	利用者数 約200名			
企業・行政・学校・NPOとの協働		地域社会（2026年度） • **支援者層の増加（ボランティア・寄付）** • **理解者の増加（参加・受講・閲覧）**	地域社会（2040年度） **子どもの育ちを支える文化が根付く** １０代の子どもの居場所が地域に増えている	**社会** 多様性を理解し、互いに助け合いながら生きられる



活動資源

人材
スタッフ
市民講師
ボランティア
企業協力者
これまで100名以上の協力者

活動場所
独自の教材・拠点
放課後等デイ：本部・鷺山教室
学童保育：本部・美島教室
学習支援：本部・鷺山教室
ユースセンター：本部・美濃加茂

財源
国庫給付、事業収入
助成金・業務委託
放課後等デイ：国庫給付
学童保育・学習支援：事業収入
ユースセンター：助成金など

ネットワーク
市民講師・企業
・行政・NPO・病院・
学校など

子どもたちがさまざまな将来の姿に出会えるような機会を

REAL VOICE



スタッフ
清水

外部の伴走者と一緒に、目指す姿や活動の価値を改めて見つめ直しました。地域社会と共に歩む未来を描きました！

Special Feature



特集「10代の居場所を地域に拓く」

文化祭を通して見えた

ヒトノネでは毎日『作品』が生まれます。
せっせと作っては「見て！」と差し出し、「ここはね、」と語りだす子。
黙々と作り、完成したら満足とこっそりカバンにしまいこむ子。
今日は大切な人の誕生日だからと、その人を思い浮かべて一生懸命に作る子。
こうして日々生まれた作品を、もっと多くの人達に見てもらいたい。
そんな目的でスタートをきったヒトノネ文化祭は、我々がヒトノネらしさを再発見するきっかけになりました。

ヒトノネにはクリエイティブな子ども達が沢山います。文化祭するよ、の一声で多くの作品が集まりました。
一度も作品を展示したことがない子、スタッフや保護者以外には作品を見せない子も、みんなに見てもらいたいと作品を預けてくれました。普段は創作活動をしない子も、周りの様子を見て創作意欲が沸いたのか、自分の好きを表現した一品を出してくれました。
また、ヒトノネとも交流があるレインボーグループの皆様からも、放課後等デイサービスに通う子ども達から素敵な作品をたくさんお貸しいただきました。

代表の篠田も驚いたと話したのは、スタッフも自分の作品をどんどん持ち寄ってきたこと。
工作、絵画、焼き物、編み物、アクセサリー、醤油、人形、詩などなど。
趣味で作ったものや、もう一つの生業として作ったものなど、実に半数以上のスタッフが力作を出品しました。
我々もまた、ゼロからイチを作るのが好きな人の集まりだったのです。
常に新しいことに挑戦していくヒトノネの原動力は、ここにありました。


▼ロボット好きな子の作品。武器まで細かい作りです。

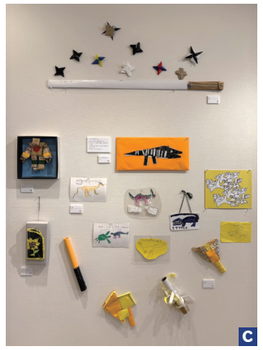

▶人形作家としての矢島先生の作品。チャームポイントは「目」。


▲ペーパークラフトのカッコイイ車たち✨

文化祭には二日間で約200人の方が来場しました。


A


B


C

A. ヒトノネで結成した２人。透き通った声と凛としたピアノが魅力的でした。
B. 千葉から手伝いに来てくださった今給黎さん。（いつもありがとうございます！） C. 子ども達の作品。それぞれの「好き」が色濃く出ていますね。

50名以上による76点もの作品の展示をはじめ、バルーンショーやクリエイターズクラブの子たちのライブ、東京造形大学とのコラボレーション映像のコーナーなど、多岐にわたる作品が会場を彩りました。
絵画講師の渡辺悠太先生が線画を描いた大きな一枚絵の塗り絵には、大人も子どももペンを取り思い思いに色を加えていきました。ただ塗るだけに留まらず、模様を加え、色を混ぜ、言葉や数式を添え、更に顔や絵を描きこんで完成した絵は、ヒトノネらしい作品となり完成しました。
作品に滲んだ各々の情熱が来場者にも伝わったのか、多くの方が「ワクワクした」と感想を寄せてくれました。様々な企業や地域の方々、保護者の皆様から頂いた多くの応援メッセージは、どれも心の温まる言葉でした。
自分が作ったものを人前に出すことは、とても勇気のいることです。子ども達が自分を表現してみたい、と一歩踏み出してくれたのは、ここにいてもいいと思える居場所をみんなで築き上げてきた証ではないでしょうか。
ヒトノネ文化祭は令和8年度も開催予定です。
皆様も足をお運びいただき、ヒトノネらしさを肌で感じてください。

（文：岩田瞳）



ヒトノネらしさの正体


中学生によるバルーンショー


ぬり絵がすごく楽しかった！


ネコ好きさん作 ロボットとネコの戦い⚔


小学生からのヒトノネっ子も集合！



画家／芸術家　渡辺悠太
展示ディレクション・ライブペイント担当
個性光る子どもたちの作品、多様な自己表現の在り方をより輝かせられる空間になるように、会場全体のディレクションをさせていただきました。アーティストの原石がたくさん生まれた「大きな塗り絵アート」僕の想像を遥かに超える素晴らしい作品に仕上がり、ただただ感無量です。音と色と線と身体の連動を楽しみながら、会場が一体となったパフォーマンス。その瞬間瞬間を描くことができ、最高のひとときでした。ヒトノネ文化祭という素敵な経験を一緒に作るお手伝いができたこと嬉しく思います。ありがとうございました。

hitonone NEWS 2025

ー 10 代の居場所を地域に拓くための挑戦 ー

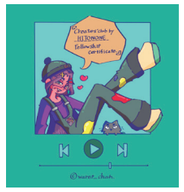
NEWS クラウドファンディング

01 「10代の居場所プロジェクト」実施



2026年3月、ヒトノネでは「10代の居場所を地域で支えるための発起人募集！」として、クラウドファンディングに挑戦しました。合計154名の方が「発起人」として名乗りをあげてくださり、総額1,318,000円のご支援をいただくことができました。

※クラウドファンディングサイト上の表示数に加え、サイト外からのご支援も含めた合計です。



発起人のみなさまをご紹介します！！

ヒトノネの活動に共感し、「10 代の居場所を地域で支えたい」と応援してくださった皆さまをご紹介します。
（掲載希望者のみ掲載）

(株)沙秀院 内黒羽子秀光
(有)皿谷食堂
50-50 LLC
cohi
nakako
NPO法人miraito 上田彩果
NPO法人Since
saoco lab.
TAKU NISHIMURA
くらしクリエイト 白上昌子
くりはらゆうこ
コー・イノベーション大学 学長 髙木朗義
しばたともこ
じゅん
ソダチノ社労士事務所
たくみん＆かけうどんファミリー
とよたの山ちゃん／山村佳織
ハルデザインオフィス 加藤春美
ヒガシ ジョウ
ブラッドショー千佳
みらい共育創研 堀洋一
伊藤維
井口智香子
永藤明憲
遠藤久志
荻野進介
河田 佳美
花房千春
株式会社ちょんまげ
株式会社ミユキデザイン 大前貴裕
岐阜子育て情報局
吉成信夫
吉田 理
宮崎厚志（一般社団法人0ur／中日新聞社）
魚澤智子
近石壮登　近石裕子
偶偶ケイカク株式会社
熊田朋恵
建設業を本気で良くする株式会社
古澤由加里
後藤千絵
高橋明裕
高田郁弥
合同会社めぐる
今給黎 辰郎
佐和田雅美
細尾正行
三石裕美
山口芙美子
山田 重昭
山内佑輔
山本昇平
山本友美
柴田学
酒井研治
所 貴佳
松永宗憲
松田広宣
松澤製麺所
上松恵子
森豪大(富山大学/ひみりべ。)
森洋三
水谷衣里
杉本昭一
椙浦良子
菅原 邦弥(プロコーチ/大学生のキャリアアドバイザー)
清水伸明
千田洋介
川合福太郎
川瀬尚子
川鰭祐子
浅井恵美
浅井彰子
曽我五月
村上奈津子
大建met 平野勝雅
大塚広基
丹羽勇斗
長屋輝夫
長谷川友紀
長縄康浩
低引稔
田垣敦朗
田口哲郎
田中 薫
田中康暉
渡辺眞子
藤井井美和
藤井勲
藤田考紀
動画のチカラ 伊藤ノリ
二宮佳代
日下部友美
白橋利明
飯田剛志
盤所杏子
非営利団体 i’m
福岡かおりん
米藏雄大
宝玉会館
北川雄史
毛受誉子
木下慎一朗
野村知栄
野村優
冷したぬき天国
鈴木千里
纐纈栄司
鮭川嘉文

REAL VOICE 卒業生からのメッセージ



卒業生 あまね
（文化祭で素敵な演奏もしてくれました！）

ヒトノネは、僕が自分らしくいられる居場所のひとつです。
同じ屋根の下、みんなが好きに何かをしていて、その中で関わりが生まれたり、逆にめっちゃ熱中できたり。
今は、岐阜を離れ東京で音楽をやっていますが、たまに岐阜に帰ってここに寄ると、
みなさんの人柄も場所の「寛さ」も全部あったけぇ…。
ってなります。そんな素敵な場所です。



ほうじ茶好きなプログラマー
たくみん

理由もなくふらっと行って、雑談して、お菓子を食べて、気が向いたらプログラミングして。
いつ行っても誰かいるから、そういう使い方ができたと思います。
支えてくださった方々のおかげで、こういう時間が過ごせました。
これからも、そんな場所であり続けてほしいです。

NEWS 美濃加茂市営のユースセンター

02 「KAMONOOK」OPEN



KAMONOOK（旧美濃加茂ユースセンター）がオープン！　藤井市長も来てくださいました。

2025年10月より、美濃加茂市営ユースセンターの運営に携わっています。「KAMONOOK（カモノック）」は、「美濃加茂」（KAMO）と隠れ家（NOOK）を掛け合わせた名前。行政と協働しながら、10代が安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。毎回15人前後の中高生が、やりたいことをして過ごしています。



自分たちの居場所から見る花火は格別！　青春とは、まさにこのことではないでしょうか。







ゲームしたり雑談したりして過ごすよ！





中高生のやりたいことを地域の方と一緒に実現するユメプロジェクトも実施中！



NEWS 10 代向け子ども食堂 in クリエイターズクラブ

03 フードパーティー開催中！







レタスで手巻き寿司？！



ユースセンターで行っている月に一度の交流イベントです！







A.高校生から社会人まで、ボランティアスタッフが力を合わせて準備しています。いつもありがとうございます！　B.東京から篠原さんご夫妻が来訪。手作り餃子パーティーで盛り上がったほか、篠原さんに進路相談をする高校生の姿も。　C.「10代の居場所プロジェクト」の発起人の方々も遊びに来てくださいました。サポーター池田さんによる「タコパ」は大盛況！

毎月第３金曜日の夜にフードパーティーを開催しています。にぎやかに過ごす子もいれば、静かに過ごす子もいる。同じ空間にさまざまな人がいて、それぞれのペースで過ごせることを大切にしています。中高生が中心ですが、大人の参加も大歓迎。地域のみなさんとの出会いの場にもなっています。

毎月第３金曜　18:00～20:00@ヒトノネ本部教室 2F

REAL VOICE



大学生ボランティア
あいりさん

フードパーティーのボランティアスタッフの役割分担・調整を担当しています。青春をお裾分けしてもらっています！



社会人ボランティア
鈴木さん

できることで役に立ちたいと思い、子ども食堂のボランティアを探しました。若い方達と関われるのがとても楽しいです。

NEWS 04 企業 × 団体の寄付つき商品

ぎふハッピーハッピープロジェクト



3月に行われる活動報告会には、毎年岐阜市長もお越しくださっています。

岐阜のまちに“ありがとう”があふれる



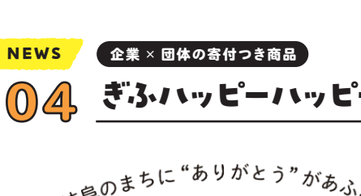
地域の「おもい」を集めて「ねがい」に。そして「ねがい」をかたちに。福祉・企業・地域の人びとがつながり、「ありがとう」がまちに広がる取り組みが、ぎふハッピーハッピープロジェクト（GHHP）です。今年度も多くの企業のみなさまにご支援いただき、子どもたちの育ちを支える輪がさらに広がりました。

協賛企業

- 株式会社環境システム社
- 株式会社プロスパー
- 六原建設株式会社
- 株式会社 KENTO
- カネ井青果株式会社
- 有限会社安藤商店
- カーマッチ岐阜羽島店

NEWS 05 日常をありのままに語っていま

ヒトノネラジオはじめました





2025年6月にスタートしたヒトノネラジオ。タイトルは「はっぴいえんどでなくちゃイヤ」。代表篠田と理事の清水が、子育てや教育の現場で感じたことを語っています。ゲスト出演も大歓迎です。

REAL VOICE



HANAKO

私のお気に入りは子どもたち登場回。ヒトノネらしさがよく伝わるので、ぜひ聴いてみてください！

NEWS 06 保護者と支援者のしゃべり場

ヒトノネカフェ開催しました

ヒトノネカフェは、困り感のあるお子さんを育てる保護者や支援者が、子どもの進路や日々の関わりについて本音で語り合う場です。11月・12月・2月・3月の4回開催しました。



株式会社プロスパー武山社長から多様な働き方について伺いました！



「進学」「就労」などのテーマについて、お茶を片手に語り合いました。

REAL VOICE



スタッフ YOIちゃん

保護者同士で話してホッとできる場をずっと作りたかったんです。他の家庭のリアルな話って、なかなか聞くことがなくって。　聞いて、話して、泣いて、笑って！運営側も楽しく参加できました。

Staff Introduction

ヒトノネのヒトビト

ヒトノネには、ちょっと変わった大人たちがいます。
好きなことも得意なこともバラバラ。
「みんなで力を合わせればなんとかなる。みんな違うからなんでもできる。」
そんな思いを大切にしながら、子どもたちと一緒に日々を楽しんでいます。





篠田花子
言葉／細野晴臣／音楽／建築／猪突猛進らしい（自覚なし）／公認心理師

旅系YouTubeを見て気分だけでも海外旅行



老田浩之
愛とパッション／ヒトノネの父／元総合物流商社勤務／システム開発／児発管

SUUMOが愛読書。毎日見ています。間取りをみて妄想するのが好き



佐々木智子
岩手／精神保健福祉士／家族相談士／児発管／ヒトノネのプロフェッショナル

子どもたちとのシール交換♪ジンベエザメLOVE！



岩田瞳
すみっコぐらし／遊戯王／ドラゴンズ／文芸部／元塾講師／教員免許（小）

刺繍にハマってます！色々刺繍にして愛でてます！



酒井美紅
バイオリン／手芸と読書が大好き／推しはいちご🍓／レクイン／社会福祉士

25周年を機にエグゼにハマり直し中。私もAIの相棒が欲しい。



郷原舞
茨城／３児の母／まど・みちお ＆ 星野道夫推し／文具沼／SF 映画好き

めだかの飼育にハマっています。



久世祥子
孫５人のババ／折り紙／孫とのメール交換が楽しみ／美味しい果物選びが得意

麹料理・保存食作り・絵ゆとり時間を謳歌しています。



幸真理香
鹿児島／３児の母／アツアツの麺／サツマイモ／教員免許（小、中高美、特支）

ルールはわからないけど、野球観戦にハマっています！



矢島宗弥
人形作家／造形／アニメ／ゲーム／定時制高校非常勤／教員免許（小・中高美）

県外に買った古民家の改修と、付近での園芸が楽しいです。



増村麻
NZ 留学／ 14 カ国渡航／推しはビョンウソク／めめラウ推し／保護猫２匹／関数好き

スプレッドシートで業務を自動化をすること。ベストな猫砂探し



橋本篤子
兵庫／手作り醤油／ALD1のARNO、&TEAMのEJ推し／元日本語教師／保育士資格

推しの韓国語を聞き取れるように勉強中！



川瀬茉子
陶芸作家／元高校教師／蛾と微生物の観察が趣味／教員免許（中高美）

数学と茶道が趣味で続けてます〜



藤井理恵
つくるの大好き／映画学科／子どもとアート／オリジナルキューピー／元学童の先生

ものづくりが好きで、自作キューピー人形を作ったりしています。



片山甲平
音楽好き／お笑い好き（金属バット推し）／ギターちょっと弾けます／保育士資格

君島大空さんというシンガーソングライターにハマっています



福井貴之
旅行／キャンプ／ボイ活／元小学校教員／教員免許（小・中社・高歴地公）

3歳の娘と遊ぶ事！川、虫、電車、バス、散歩、公園こんな毎日！



村木絵美
千葉／書道とテニスを習ってます／趣味はお菓子作り／保育士／介護福祉士

体にムチ打って家族でテニス。肩や腕が痛い世代。



清水奈緒子
ヒトノネのカウンセラー／爆音鼻歌／キャリコン／教員免許（小・中音・特支）

ホットヨガにハマっています！滝汗がたまらん！！



石川由子
邦ロック／ロバート秋山／男子２人の母／Type1Dreams／調理師／児童養護施設

朝、テンション上げるための音楽を聴いてます！！



林拓哉
元中学校の先生／英語／ドラゴンズ／アニメ／寿司／教員免許（中高英）

20年以上野球をしています。最近はやるより観る専門です！

hitonone everyday life episode

ヒトノネの日常から

ヒトノネには、さまざまな事業があります。
探究型学童保育、放課後等デイサービス、
個別指導塾、ユースセンター。
子どもたちが過ごす日常の中には、
思わず誰かに話したくなるような出来事がたくさんあります。
ここでは、各事業部のスタッフが
印象に残っているエピソードをご紹介します。





五感で楽しむ、特別な夏休み

この一年も、たくさんのプロフェッショナルが子どもたちの世界を広げてくれました。画家の渡辺悠太さん、服作家の井上アコさん、木工作家の篠田俊光さんやリリー先生。和菓子職人の寺澤隆治さん・梨沙さんご夫妻の講座では、目の前で仕上がる「鮎菓子」の職人技と良い香りに、子どもたちもスタッフも目を輝かせて釘付けに！さらにスペイン人のリッキーさんを迎えた「スペインDAY」では、みんなでスペインの家庭料理を味わい、外国の遊びに大人も全力で参加して大笑いしました。キッズキッチンかおりん先生との冷や汁づくりや、毎年恒例の「逃走中」など、今年もたくさんの笑顔が生まれました。
大人も子どもも一緒になって楽しむ夏休みは、今年も特別な時間になりました。

探究型学童保育



「先生が言うからやる」から「自分でやる」へ

「先生が言うからやる」が当たり前だった、ある小学生。宿題も、「学校の先生が宿題ないって言ってた」「忘れてきた」と、あの手この手で避けようとします。何とか取り組んでもらおうと声をかけるものの、お互いしんどくなるばかりで、なかなかうまくいきませんでした。
そこで、宿題よりもまず大切にしたのは、毎日の流れを整えること。ランドセルを下ろす。連絡帳を出す。手を洗って、おやつを食べる。そんな小さなルーティンを、一つずつ積み重ねていきました。
今では、小さな置き時計を持ち歩き、「あと5分で帰る」と自分で時間を確認し、時間になると荷物を持って玄関へ向かいます。宿題にも、自分から取り組める日が増えてきました。
「先生が言うからやる」ではなく、「自分でやる」。
そんな小さな変化が、子どもたちの日常の中で少しずつ育っています。

放課後等デイサービスみちな



「じぶんボックス」から始まる物語

「みちなキッズ」には、一人ひとりが自分で作った「じぶんボックス」があります。中に入っているのは、一生懸命に折った折り紙、お気に入りの絵本、まだ作りかけの工作など、子どもたちにとっての「とっておき」が詰まっています。
空き箱を組み合わせた秘密基地。細かな細工まで作り込んだ変身ベルト。かわいらしい魔女の帽子や、大好きなキャラクターのペーパークラフト。子どもたちの自由な発想や創意工夫には、いつも驚かされます。
小さな紙くずに見えるものでも、その子にとってはかけがえのない宝物であることがあります。その「大切にしたい」という気持ちこそが、何より大切なのだと思います。
箱いっぱいの宝物を見つめる子どもたちの横顔は、いつもどこか誇らしげです。

放課後等デイサービスみちなキッズ







「学校が嫌」と言わなくなった日

別室登校をしながら自分のペースで前へ進んでいた中学生。合格通知をもらって進路が決まった日、保護者の方が笑顔で教えてくれました。「最近、学校に行くのが嫌って言わなくなったんです」
変化の大きな転換点は、受験する高校を決めた時でした。毎日登校することが難しい現実のなかで、週に2-3日から通える通信制学校の選択肢が浮かんだとき、将来の夢に向けて「こういう道もある」と視野が広がりました。彼女自身の意志で進路を選び始めた瞬間でした。
スタッフ自身も学校の見学情報を届けたり、同じ境遇で進路に向き合う仲間の存在を伝えたり、手探りで応援し続けました。振り返れば、「勉強のついで」に交わした何気ない雑談の積み重ねも、彼女を深く理解し、的確な情報を届けるための大切な土台になっていました。

Imaru 個別指導塾



給食の噂から始まった一歩

クリエイターズクラブ（CC）には、「斜めの関係性」があります。
ある日、学校への行きづらさを抱えていたある小学生がCCの常連である中高生たちに「学校の給食って、何が一番おいしい?」と尋ねました。「やっぱりソフト麺のミートソースだよね」「結局のところ、春雨サラダが最強だよ！」と、お互いのおすすめメニューの話で大盛り上がり。この何気ないおしゃべりが、彼女の心を動かす小さくて大きなきっかけになりました。
「給食を食べに、ちょっと学校へ行ってみようかな」。そんなワクワクした気持ちに背中を押され、彼女は再び学校の門をくぐりました。それを機に、今は自分のペースに合わせた登校スタイルを前向きに模索しています。
当初は学習への苦手意識が強かった彼女ですが、最近ではさらに嬉しい変化がありました。CCで慕う中学生のお姉さんの姿に刺激を受け、「中学校の数学をやってみたい！」と、自分から中学のワークに挑戦し始めたのです。少し背伸びした問題に、きらきらした表情で挑戦しています。
小さな出会いが、今も彼女の背中を押しています。

ユースセンター
クリエイターズクラブ





「餅つきやりたい！」から始まった地域の輪

「KAMONOOKで餅つきをやりたいね！」高校生の一言から、挑戦は始まりました。
スタッフが市役所の方に相談すると、まちづくり協議会の方や元自治会長さんが力を貸してくださることになりました。道具の貸し出しから、おいしいお餅のつき方まで、快くサポートしてくださいました。
当日は、小学生から大人まで約80人が集まる大賑わいの餅つき大会に。前日の準備から当日の運営、最後の片付けまで大活躍だったのは、日頃からセンターに通う中高生たちです。自分たちで役割を分担し、テキパキと動く姿がとても頼もしく感じられました。
「前に餅つきをしたときは、これくらいの大きさが食べやすかった！」
「あんこ、きなこじゃない味付けも試してみたい！」
牡蠣醤油、ふりかけ、じゃがりこなど、自分たちでお餅のおいしい食べ方を次々と開拓。餅つき大会が終わる頃には、さらに頼もしくなった彼らの姿が、とても印象に残っています。

ユースセンター KAMONOOK

数字で見るヒトノネ

hitonone in numbers

2025 年度のヒトノネの活動を
象徴する数字を集めてみました。



ボランティアスタッフ
38名

スタッフ数
合計 **31名**

常勤スタッフ：9 名、非常勤スタッフ：7 名、
役員：3 名、アルバイトスタッフ：12 名

ヒトノネ文化祭の出展作品数
合計 **76点**

ヒトノネ56作品（子ども36点、スタッフ20点）
放課後等デイサービス レインボーグループ20点

イベント参加者数
フードパーティー **218名**

ヒトノネカフェ **56名**

2025.11-2026.3：4 回開催

ヒトノネラジオ更新回数
35回

クラファン支援者数
154名

市民講師の数
51名

個人：16名、団体・事業者：15団体
（※従事したスタッフ総数：35名）

GHHP の参画企業数
（ぎふハッピーハッピープロジェクト）
7社

手作りスタッフランチ回数
12回

REAL VOICE



スタッフ
TOMOKOさん

全体会議の後は、スタッフみんなで食事をしています。毎回の絶品手作りランチが、みんなの楽しみです！食卓を囲みながら子どもたちのことや近況を話し、「おいしいね」と笑い合う時間は、スタッフ同士のつながりを感じられる大切なひとときになっています。

financial report

2025年度決算報告（2025年4月～2026年3月）

収益（収入） 活動を支えるお金

（単位：千円）

項　目	金　額
事業収入	
放課後等デイサービス	42,731
学童保育	6,664
ユースセンター	7,036
学習支援 Imaru	4,621
広報・執筆等事業	4,203
寄付金	903
助成金・補助金	14,217
その他	41
合計	80,416

2025年度の総収入は8,042万円となりました。放課後等デイサービス事業が収入全体の約53％を占め、ヒトノネの事業基盤となっています。また、助成金・補助金収入は約18％を占め、新たな取り組みや若者支援事業の実施を支えました。ユースセンターや学習支援事業など、制度だけに依存しない多様な事業収入も少しずつ広がっています。ぎふハッピーハッピープロジェクトを軸に企業・個人からの寄付にも支えられています。

費用（支出） 活動に使ったお金

（単位：千円）

項　目	金　額
人件費	45,599
事業運営費	13,108
施設運営費	7,383
減価償却費	2,643
合計	68,733

支出の約66％は人件費です。ヒトノネでは、子どもや若者一人ひとりと丁寧に関わるため、スタッフの配置と育成を重視しています。また、ユースセンターの運営や地域連携活動など、制度では十分に評価されにくい取り組みにも継続的に投資を行っています。

財務状況 活動の成果

（単位：千円）

項　目	金　額
収入合計	80,416
支出合計	68,733
経常利益	11,255
法人税等	72
当期純利益	11,183

2025年度は1,118万円の当期純利益となりました。これにより、設立以来の累積損失を大きく解消できました。今後も安定した経営基盤を築きながら、子ども・若者が安心して挑戦できる地域づくりに取り組んでいきます。

2026 年度以降は、

- **スタッフが長く働ける環境づくり**
- **ユースセンター事業の発展**
- **地域との協働による新しい挑戦**

に投資しながら、持続可能な組織運営を目指していきます。





FY2026 Activity Plan

2026 年度の主な活動計画

① 関市ユースセンター OPEN



関市営ユースセンターがオープンします。場所は「せきてらす」で、水・金曜日オープン予定。ヒトノネが運営支援に入ります。7月8日にプレオープン、7月10日にオープニングセレモニーを実施。中高生はもちろん、地域のさまざまな大人にも関わっていただきたいと考えています。ぜひ遊びに来てください。

② 「CHAVELシャベル」定期開催



地域の大人が集まる大人のフードパーティー。様々な業種の方々が集まります。

SUNWASPA Recycle Revolution

REIJI YASUE ARCHITECTS 安江怜史建築設計事務所

「シャベル」は、「喋る」と「シャベル（土砂などを掘る道具）」を掛け合わせた名前。いろんな人が集まり、出会い、「掘るように深く話す」場です。株式会社サンウエスパ と 安江怜史建築設計事務所 とヒトノネとの共催。「循環」というテーマを起点に対話が広がっています。2-3ヶ月に1回定期開催予定です。

③ ヒトノネ文化祭またやります

大盛り上がりだった文化祭。「また演奏を披露できる機会が欲しい」「文化祭に向けて新しい作品を作りたい」など、2026年度もやりたい！という声が子どもたちから。またどんな形でお届けできるか、楽しみにしていてください。

④ 探究型学童保育ヒトノネ

今年はロクマチ西岐阜さんとコラボして夏祭りを開催予定。高学年チームでロクマチにお邪魔してお店を出店します。低学年チームは盆踊り大会をメインにした夏祭りを実施。今年は夏祭り2回！？

⑤ 放課後等デイサービスみちな／みちなキッズ

今年の長期休みは、昨年度よりもお出かけプログラムを充実させる予定です。また、みちな・みちなキッズ合同での活動も増やし、事業所の枠を越えた交流や体験の機会を広げていきます。

⑥ Imaru個別指導塾

9月に勉強会を開催し、お子様の進路に悩む保護者さまのご相談にも乗れればと計画中。今年も、子どもたちの成長と納得感のある進路選択を応援します。

⑦ クリエイターズクラブ（ユースセンター）

毎月第３金曜日に開催中のフードパーティー（10代向け子ども食堂）にもっと地域の大人も呼び込もうと計画中。外部講師によるギター講座・絵画講座・ドラム講座も引き続き実施中です。

⑧ KAMONOOK（旧美濃加茂ユースセンター）

カモノック



- オープンキャンパスを実施予定。対象は中高生。参加費無料&事前申し込み不要&入場自由。
- 8月からユメプロ本格始動。中高生のやりたいを実現するユメプロ。8/1に説明会があります。そこから、自分のやりたいことが現実に。
- 10月に花火大会鑑賞会を行います。いつもの空間が最高の特等席。私たちの秘密基地から見る大きな花火は、きっとずっと忘れない。

Request for Support

子どもたちの居場所を共につくる



子どもたちの居場所は、ヒトノネだけではなく、地域のみなさんとの関わりの中で育っています。
一緒に子どもたちの成長を見守り、居場所を支えていただけたら嬉しいです。

個人サポーターになる

- **銀行口座振り込み（1口 5,000 円）**

  お振込をいただいた方はご一報ください。

お振込先

楽天銀行 第４営業支店（254）普通 7192160

岐阜信用金庫 美江寺支店（003）普通 1217264

十六銀行 真砂町支店（153）普通 1430012

- **オンラインサイトからの寄付**

  単発寄付

  Syncable

  マンスリーサポーター

  deco-boco.jp と

法人サポーターになる

- **ぎふハッピーハッピープロジェクト**

  地域の企業のみなさまと共に、子どもたちを支える取り組みを行っています。

  GIFU HHP

- **法人会員・ご協賛**

  ご寄付、ご協賛について、ぜひお問い合わせください。

物品を提供する

- **品目例**
  - ボードゲームなどのおもちゃ
  - 鉛筆、コンパスなどの学用品
  - フードパーティーの食材

Amazon ほしい物リスト

ボランティアとして関わる

- **詳細は募集サイトをご覧ください**

Activo

REAL VOICE



株式会社杉山設計事務所
代表取締役　杉山宜央さん

ハンモックやカードゲームなどを寄付させていただきました。子どもたちがたくさん遊んで、笑顔になってくれたら嬉しいです。



BNI 岐阜シティ 株式会社 KENTO
代表取締役　池田浩二さん

おたふくソースやお菓子など、寄付しました。タコパ楽しかったよね！
みんなが喜んでくれて嬉しいです！